

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-5	○身体拘束しないケアの実践 身体拘束をしない為の取り組みを法人全体ですることが期待されています。 全職員の研修は内部、外部研修を問わず速やかに実施することが望まれます。	全職員で身体拘束について勉強会を行う(担当者を決め、各職場で行う)。 実際の現場での事例を踏まえ、実践・評価を行う。	○平成28年12月のカンファレンスにて ・外部評価の結果報告を行う ・指摘事項に対して取り組みの具体的な目標と改善計画を発表する。そして職場の意見を出してもらう。 ○平成29年1月カンファレンスにて ・事前に利用者への拘束について、各自の思いをまとめておき、発表してもらう。 ・身体拘束の弊害、問題について勉強会を行う。 ・その後、勉強会前の思いと後の思い、学んだことを整理し、事例への対応方法を考える。 ○その後 ・各自の行動目標を更に発展させ、毎月のカンファレンスで行動を評価し、年末に目標達成状況を評価する。	12ヶ月
2	51-21	○日常的な外出支援 入居者にとって外界との触れ合いは楽しみのひとつなので、車いす介助ボランティアなどの検討を行い、外気浴や散歩等、積極的な外出の支援が期待されます。	体調を見ながら、来年度2回は外出をすることができる。	○平成29年4月 実習生と一緒に外出支援を行う(花見)。 ○平成29年9月 実習生と一緒に外出支援を行う(コスモス見物など)。 ○ボランティア等、社会資源の情報収集を行い、協力体制を整える。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。